

筑波大学オーナーズプログラムから TIA連携大学院への展開

TIA
拠点活用
プロジェクト

つくばナノテク拠点産学独連携人材育成プログラム

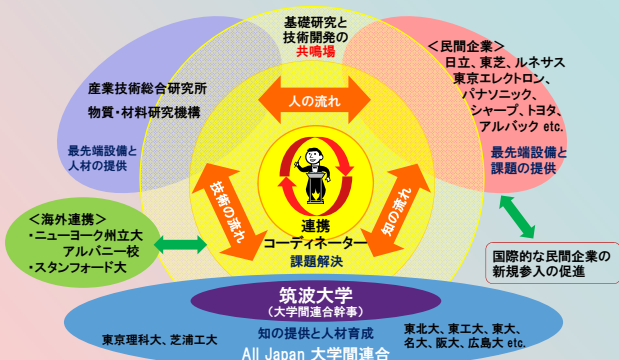
筑波研究学園都市をキャンパスとした

「つくばナノエレクトロニクス産学独連携教育研究システム」の構築

文部科学省
特別経費
2010.4～2015.3
(5年間)

つくばにおいて産学独（産業界・大学・独立行政法人）が連携し、次世代ナノエレクトロニクス分野を世界的にリードできる研究および人材育成のための世界的教育研究システムの構築を目指しています。

本プログラムの産学独連携のしくみ



連携コーディネータを中心に、技術の流れ、人の流れを引き起こし共鳴場を形成する

連携コーディネーター 7名

(2011.11.1現在)

1. 浅川 潔 (光エレクトロニクス)
2. 井下 猛 (カーボンナノエレクトロニクス)
3. 太田 憲雄 (スピントロニクス)
4. 小川 正毅 (カーボンナノエレクトロニクス)
5. 丹羽 正昭 (シリコンナノエレクトロニクス)
6. 堀池 靖浩 (ナノバイオ・有機エレクトロニクス)
7. 山田 啓作 (シリコンナノエレクトロニクス)

■ オナーズプログラム実績

(単位:人)

年度	平成22年(通年合計)	平成23年(通年合計)
応募人数	24	7
採用人数	18	19 (新規採用4、継続15)
内訳:学内 学外	14	16
	4	3
	芝浦工業大学 1 東京理科大学 1 東京工業大学 2	東京理科大学 1 東京工業大学 2
年度末人数(3月31日時点)	15	18

■ 各分野の在籍者数

分野グループ	平成22年度	平成23年度
シリコンナノエレクトロニクス	5	7
光エレクトロニクス	2	2
カーボンナノエレクトロニクス	3	4
ナノバイオ・有機エレクトロニクス	2	2
スピントロニクス	3	3
合計	15	18

■ スーパーRA採用人数

平成22年度	平成23年度
9	11

■ 日本学術振興会特別研究員採用数

平成22年度	平成23年度
2	6

学生の経済的負担軽減の取組み、研究計画等プレゼンテーションによる審査に応じて、支給額を決定。(最高額:200万円)

■ 派遣先・提携機関



構築した教育研究システムの成果をフィードバック

ナノテク 大学院連携

TIA連携大学院構想

日本の産業を牽引する、ナノテク・ナノサイエンスの次世代リーダー育成を目指す

現在の取組状況

- TIA大学院連携WGの下に、国内外の大学等が参画する、TIA大学院連携コンソーシアムを平成23年4月6日に設立。
- 産業界やオールジャパンの大学等の参画を得て、産学官の対話の場として運営協議会を設置。学位プログラムの評価、改善・充実強化を行う。



今後の展開

- TIA-nano各研究コア・WGの人材戦略の取組状況等の情報共有による機能強化を図り、大学院連携の体系的なプログラムの連携を推進。
- カリキュラムの企画段階からキャリアパスの確立まで、産学官が一体となって、博士課程前期・後期が一貫した学位プログラムを展開。
- 日本全国の大学、世界に開かれた教育システム「Open Educationシステム」の確立を目指す。



- ◆ 筑波大学つくばナノテク拠点産学独連携人材育成プログラムプログラム運営委員長 村上浩一
- ◆ TIA大学院連携WG長: 村上浩一
- ◆ 筑波大学TIA推進室 tia-suishin@pas.tsukuba.ac.jp